

環境経営レポート

2021 年度版

【2021 年 8 月 1 日～2022 年 7 月 31 日】

発行日：2022 年 10 月 20 日



 株式会社岡部機械工業

目次

1.	組織の概要-----	P1
2.	環境経営方針-----	P2
3.	S D G s 取組方針-----	P3
4.	環境経営システム組織図-----	P4
5.	2021 年度環境経営目標-----	P5
6.	環境経営計画と取組内容-----	P6, P7 , P8
7.	その他の取組-----	P8, P9 , P10
8.	11 期環境経営目標と実績のまとめ、11 期の評価と 12 期の取組--	P10, P11, P12
9.	環境関連法規等の遵守状況-----	P13
10.	代表者による全体評価と見直し-----	P14

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 岡部機械工業
代表取締役 星場俊之

(2) 所在地

認証・登録対象組織

本社	徳島県阿南市才見町旭越山 25-1
才見工場	徳島県阿南市才見町旭越山 12-1
上中工場	徳島県阿南市上中町南島 221-1
橘湾事業所	徳島県阿南市橘町小勝 3 番地 電源開発(株)内
小松島出張所	徳島県小松島市豊浦町 1 日本製紙(株)内

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 管理部：岡部さおり TEL：0884-22-2750
環境事務局 管理部：土佐野絵里 TEL：0884-22-2750

(4) 事業内容

自動省力化機械・各種産業機械の設計・製作・据付工事
機械・装置等製造業並びに建設業(機械器具設置工事業、鋼構造物工事業、
管工事業、とび・土工工事業、電気工事業)

(5) 事業の規模(11 期末時)

資本金 20 百万円
売上高 13.6 億円/年
従業員 96 名
工場建物延べ床面積 3,760 m²

(6) 事業年度 8 月～7 月

環境経営方針

基本理念

私たち 株式会社 岡部機械工業は、自然と環境を大切に、持続可能な社会の実現を目指します。

機械の設計・製作を通じて、エネルギー省力化を目指し、安全・安心の自動省力化機械の提供に取り組むことで、社会全体の環境負荷削減に取り組みます。

また、産業機械の分解・点検・修理を行うことにより、今あるものを長く安全に使用することで、持続可能な社会に貢献していきます。

以上のことに取り組みながら、すべての利害関係者の方々に感謝し行動します。

方針

1. お客様に満足いただける製品を提供し、利益を生みながらも環境影響を考慮し、SDGs を目指した企業活動に取り組みます。環境に対する関心度を高めて、さらなる省エネ・省資源対策の徹底を実践します。
 - ・ 二酸化炭素排出量（電気・燃料 使用量）の削減
 - ・ 水使用量の削減
 - ・ 廃棄物の削減
 - ・ コピー用紙使用量の削減
 - ・ 化学物質の適正管理
 - ・ グリーン購入の推進
 - ・ 環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工
2. 環境関連の法令、規制、協定等を遵守し、顧客、地域社会に対して負の影響を及ぼさない事業活動を行います。
3. 社会貢献に努めます。
 - ・ 会社周辺の清掃活動の実施
 - ・ 災害時の避難受入れ
4. 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善を図ります。
5. 社員全員がこの方針を理解するとともに、実践することで環境に対しおもいやりを持ちます。
6. この方針は、ホームページ等で一般に公表し、環境活動に活かします。

制定日： 2009 年 10 月 30 日

改訂日：2020 年 11 月 20 日

株式会社 岡部機械工業

代表取締役 星場俊之

株式会社岡部機械工業 SDGs 取組方針

《理念》

当社は持続可能な開発目標「SDGs」に賛同し、その目標達成に向けて企業の社会的責任を自覚しながら主体的に取り組んでまいります。

《取組方針》

1. 魅力のある地域社会実現への取組み

社会貢献活動や環境保全などの取組みによって、地域の人々が安心して生活できる持続可能な社会の実現を目指します。

2. 経済活動による健全な発展と環境活動への取組み

当社の事業活動を通じて、地域経済の発展に貢献すると共に、環境影響の低減を目指します。

【当社の SDGs の取組み】

★海岸や会社周辺の清掃活動と環境保全活動



★クリーンエネルギー（再生可能エネルギー）の創出および活用



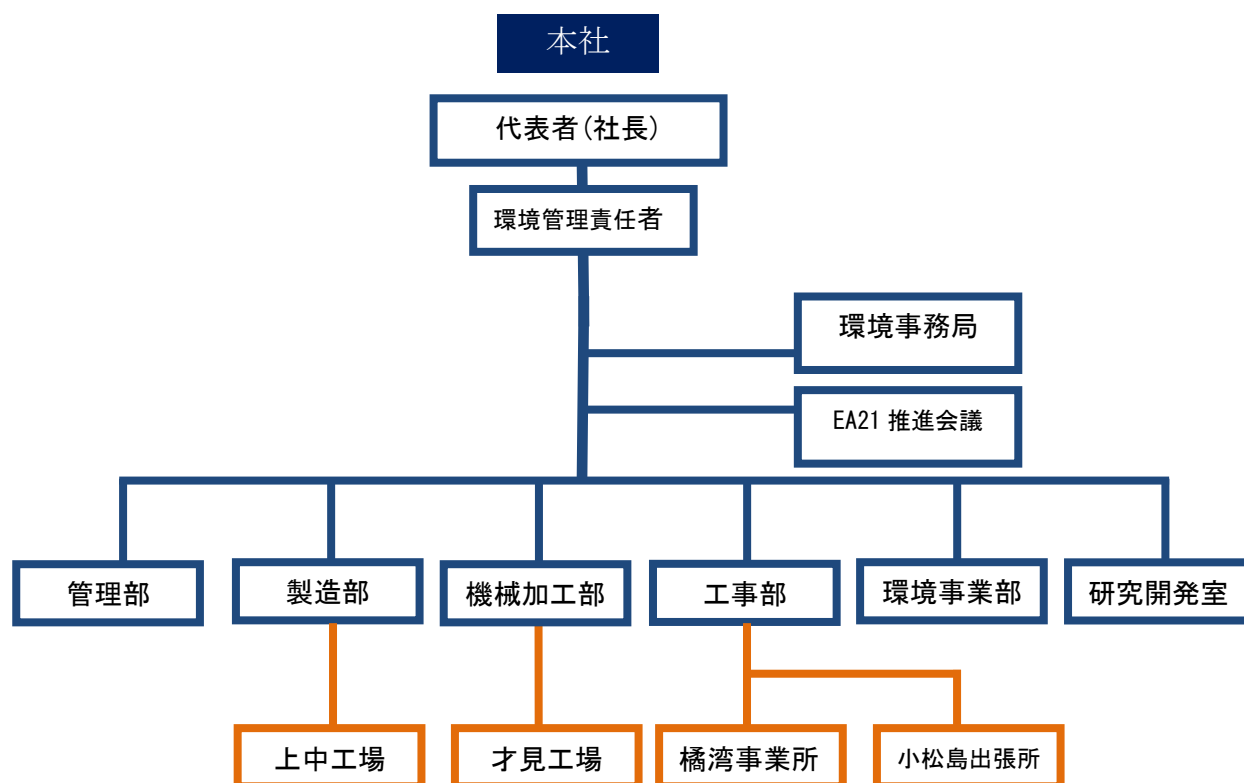
★「健康経営優良法人」の認定



★地方から全国に向けての事業の取組み発信



4. 環境経営システム組織図



※全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする。

	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 資源の準備（人員、設備、費用等） - 環境経営方針の策定・環境管理責任者を任命 - 代表者による全体の評価・見直し
環境管理責任者	- 環境経営システムを構築・実施・管理 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規制一覧表及び遵守チェック表」の作成並びに遵守チェック - 環境経営目標及び環境経営活動実施計画書の作成 - 環境経営活動実施計画の実績集計 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	- E A21 推進会議の事務局 「環境関連法規制一覧表及び遵守チェック表」の作成並びに遵守チェック - 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
EA21 推進会議	- EA21 推進会議の実施 - 環境関連の勉強会の開催 - EMS の実施とスパイラルアップ - EA21 推進会議の記録と周知 - 内部監査の実施
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施 - 自部門における環境経営方針の周知、教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 2021 年度 環境経営目標

環境経営目標【全社】 ※環境経営目標は当社 8 期(2018. 8～2019. 7)を基準年度とした。

項 目		8 期 実績	9 期 目標	10 期 目標	11 期 目標	12 期 目標	13 期 目標	14 期 目標
		2018.8～ 2019.7	2019.8～ 2020.7	2020.8～ 2021.7	2021.8～ 2022.7	2022.8～ 2023.7	2023.8～ 2024.7	2024.8～ 2025.7
電力使用量	k W h	211,534 (基準)	209,419 (99%)	207,303 (98%)	205,188 (97%)	203,073 (96%)	200,957 (95%)	198,842 (94%)
燃料使用量	ℓ	20,661 (基準)	20,454 (99%)	20,248 (98%)	20,041 (97%)	19,835 (96%)	19,628 (95%)	19,421 (94%)
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	162,977 (基準)	161,348 (99%)	159,718 (98%)	158,088 (97%)	156,458 (96%)	154,829 (95%)	153,199 (94%)
廃棄物	一般 廃棄物	kg	5,661 (基準)	5,604 (99%)	5,548 (98%)	5,491 (97%)	5,435 (96%)	5,378 (95%)
	産業 廃棄物	kg	22,386 (基準)	22,162 (99%)	21,938 (98%)	21,714 (97%)	21,491 (96%)	21,043 (94%)
水使用量	m ³	551 (基準)	545 (99%)	540 (98%)	534 (97%)	529 (96%)	523 (95%)	518 (94%)
化学物質 使用量	ℓ	929 (基準)	920 (99%)	910 (98%)	901 (97%)	892 (96%)	883 (95%)	873 (94%)
グリーン 購入推進	品	100% (基準)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した製品、 サービスの提供及び施工		199 (基準)	204 +5件	209 +5件	214 +5件	219 +5件	224 +5件	229 +5件
事務所周辺の清掃活動 (回/年)		12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回
経営戦略		0回	-	8回	12回	12回	12回	12回

- ・対象事業所は全事業所とする。 ・ CO₂調整後排出係数：0.462 (kg- CO₂/kWh) (四国電力株式会社 平成 30 年度)
- ・グリーン購入推進の目標については、グリーン購入したことのある対象品目に対して 100%達成を目指す。

環境経営目標【建設工事】 ※環境経営目標は当社 8 期(2018. 8～2019. 7)を基準年度とした。

項 目		8 期 実績	9 期 目標	10 期 目標	11 期 目標	12 期 目標	13 期 目標	14 期 目標
		2018.8～ 2019.7	2019.8～ 2020.7	2020.8～ 2021.7	2021.8～ 2022.7	2022.8～ 2023.7	2023.8～ 2024.7	2024.8～ 2025.7
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	14,656 (基準)	14,509 (99%)	14,362 (98%)	14,216 (97%)	14,069 (96%)	13,923 (95%)	13,776 (94%)
燃 料	ガソリン	ℓ	606 (基準)	600 (99%)	594 (98%)	588 (97%)	582 (96%)	576 (95%)
	軽油	ℓ	5,115 (基準)	5,064 (99%)	5,013 (98%)	4,962 (97%)	4,910 (96%)	4,859 (95%)
産 業 廃棄物	k g	623.8 (基準)	617.6 (99%)	611.3 (98%)	605.1 (97%)	598.8 (96%)	592.6 (95%)	586.4 (94%)
化学物質 使用量	ℓ	73.0 (基準)	72.3 (99%)	71.5 (98%)	70.8 (97%)	70.1 (96%)	69.4 (95%)	68.6 (94%)

- ※ 建設工事の電気・水道等は他企業と共用で把握できない為、廃棄物・燃料・化学物質を管理する。
- ・ CO₂調整後排出係数：0.462 (kg- CO₂/kWh) (四国電力株式会社 平成 30 年度)

6. 環境経営計画と取組内容

電力の削減	
デマンド削減の取組を引き続き行う	エアコンの使用は残念ながら増えました。 デマンド対策の為、気温差の少ない早朝に電源 ON する等しました。消し忘れは殆どありません。会議、リーフレット「エアコンの使用は適切に」、 「電気代の燃料費調整額が上がります！」 等、こまめに周知を行いました。
夏季の軽装、冬季の重ね着等の工夫を行う	ウォームビズは実践しています。クールビズも、室内事務作業中はTシャツ OK にし、各自工夫していますが、個人任せでなく作業服見直し等の必要もいよいよ出てきました。
温湿度の調整を工夫する	梅雨時期は除湿器、冬は加湿器を設置してエアコンだけに頼らないようにしました。温度設定の見直し、調整、不在時はこまめに OFF など、更に工夫が必要です。
新型コロナ感染防止対策と環境負荷削減の模索（アイデアの募集など）	換気しながらのエアコン使用で引き続き電力量は多いですが、扇風機を使用するなどして効率を高め、個々に調整しています。
燃料の削減	
仕事内容を考え最適な車種の選択	暑さによる車のトラブルもありました。（エンジン不具合など）仕事量で消費燃料が増えるのは仕方ないのですが、点検を確実にし、燃費向上、リスク回避に努めています。
急発進、急加速の抑制	月末会議で、各部の発表にも「急発進、急加速をしない」目標に挙げられている事を確認しました。各自、意識して運転出来ているようです。
不必要な荷物は積まない	外部工事、出張が増えましたが、不必要な荷物を積まない等、基本的なことをきちんと行えるよう努力しています。
エコドライブの継続的な情報提供	「早めのアクセルオフ」、 「チョイス！エコカー」 「COOL CHIUCE」等、 リーフレットを各省庁 HP より 引用・作成して回覧しました。
一般廃棄物の削減	
ダンボールの廃棄ルール徹底	段ボールは各事業所が責任をもって廃棄してくれています。一般廃棄物の約半分は段ボールですが、リサイクル出来るきれいな状態のものは出荷に利用しています。
会社全体での3Rの実行	EA21 推進会議でプラスチック資源循環促進法の勉強会を行いました。年目標をクリア出来ました。精密機械を製作する上で、部品の入荷時に埃などを混入してはならないので、どうしても梱包材や段ボールが多くなりますが、汚れていない物は再利用し、ゴミの削減に繋がっています。
ペーパーレス化	人事通達など、紙で配布していたものを社内イントラネットを利用して配信するようにしました。

<u>産業廃棄物の削減</u>	
会社全体での 3R の実行	今年は小松島出張所の整頓があり、有価物が多く出されましたので、例年より排出量は多くなっています。
無駄な資材、機材を購入しない	購入する際に、廃棄する事を考えて購入するように、意識するようになりました。
整理して廃棄する	8 月は産廃、9 月は有価物が多く出ました。産廃は整理して分けて捨てられていました。産廃 BOX の中には木のパレットが多いです。
<u>水使用量の削減</u>	
適正な利用、節水に努める	毎月の使用量を月末に全社員に周知し、節水を呼びかけた結果、男子トイレの節水案など、すぐに出来そうな取り組みを、積極的に行う事が出来ました。
蛇口締め忘れ防止の徹底	老朽化、ポンプ不良により、上中工場の水漏れがありました。部品の調達が出来ず漏れが続いた事もありましたが、個々には意識をして取組出来ていました。
適切な手洗い	コロナ対策のこまめな手洗いや拭き掃除が出来ました。
環境にやさしい洗剤の選定	「@ 除菌」の活用で、 洗剤不使用による 節水 は継続して出来ています。 
<u>化学物質使用量の削減</u>	
在庫管理の確認を徹底する	今期の年間化学物質使用量は 503L で目標達成出来ました。
新規購入時の SDS 確認	衛生パトロール、内部監査で 現場に SDS があるか確認してもらいました。 
リスクアセスメントを実行する	どの部署も SDS の保管が出来ており、リスクアセスメントも実施出来ています。
緊急時漏洩訓練の実施	コロナ感染防止の為、2021 年 9 月 9 日、 社内イントラネット『イーデスク』にて 『漏洩・消火手順について』を周知しました。 台風の翌日は、会社周辺排水溝の清掃を行い、 異常がないか確認しています。 
環境にやさしい代替品の検討	新しく購入する際は、代替品がないか検討して購入しています。
<u>グリーン購入の推進</u>	
グリーン対象商品購入数集計	引き続き、注文時のカウントでグリーン購入商品の記録忘れを防いでいます。
グリーン対象商品の周知	ファイルは紙ファイルを出来るだけ購入するように心掛け、廃棄する時の事を考えるようにしています。
部署単位での商品の検討	環境負荷が小さく、価格も安く、丈夫なグリーン購入を見つけるのは難しいのが現状です。 無理のない程度に購入を継続していきたいと思います。
<u>環境配慮製品の開発・販売促進</u>	
環境に配慮した提案、設計、施工を行う	環境配慮製品の開発も大切ですが、配慮された製品を使った製作は可能です。客先の指定するものもあり、選択は限られてきますが、製品を廃棄する時の事まで考えて購入したいと考えています。

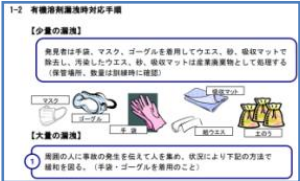
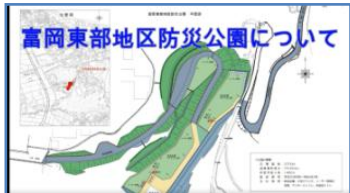
環境に関する教育、周知を行う	EA21 推進会議では環境の勉強会を行い、5S 委員会でもゴミ分別について意見を交わしました。
環境に関するアイデアの探求	環境ミーティングでは、節電について案を出し合い、節電の改善提案の提出に繋がりました。今後の企業活動は環境への影響を視野に入れて進めていかないと生き残れない状況になっています。SDGs を形だけにしないで出来るところから取り組んでいきます。

7. その他の取組

会社周辺の清掃活動の実施(毎月 1 回実施)

	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01	2022/02	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07
参加人数	雨天中止	15	47	13	57	11	40	雨天中止	46	21	49	雨天中止
総 Kg	0	1.2	7.4	1.2	4.8	2.5	4.75	0	3.4	1.1	1.15	0
  												
毎月 1 回、本社と才見工場で交互にごみ拾いを実施。近隣の会社や行政、地域の方の清掃活動等もあって、不法に廃棄されるゴミの量はかなり減ってはいますが、なくなりません。引き続き、「⑬気候変動に具体的な対策を」、「⑮陸の豊かさを守ろう」の実現に向けて、今後も活動していきます。												

災害時の避難受入れ

【 備蓄品 】 随時追加しています 白米・炊込ご飯等 缶詰・ビスケット 飲料水・ティッシュ 他	〔 災害時の備蓄品置場 〕 建物 2 階の安全な場所を 災害時の備蓄品置き場としています。 	〔社内イントラネットでの情報共有〕 コロナ禍の為、「漏洩・消火手順」や「富岡東部地区防災公園についての動画」での周知を行いました。  
---	--	--

SDGs への取り組み



未来会議 発足



はぐくみ 表彰



健康経営優良法人 2022



フードバンクとくしまへ 食糧支援



近隣小学校へ 砂場を寄付



献 血

献血にご協力ください(12月)			
実施日	採血場所	住 所	採血時間
24日(金)	阿南警察署	富岡町	9:30~11:00
	阿南部機械工業	才見町	12:40~14:00
29日(金)	シヨウビツ プラザ アピカ	西路見町	10:15~11:50 13:20~16:00

※400ml献血のみの実施です。
徳島県赤十字血液センター
☎088-631-3200

取組 EA21 推進会議

EA21 推進会議では、各部から推薦された部員が、会社や家庭での環境への取組の話し合いや、持ち回りの勉強会を開催する事で、より環境への知識や意識を深めていくことが狙いとなっています。

推進会議は年に2~3回開催され、・EMS 記録の反省、テーマを決めた話し合い、勉強会の構成で実施しています。

今期は 計3回 開催されました。

2021年10月21日(木) 10:05~10:55 15名

- ・EMS 記録 10 期の実績について
- ・ドローダウン
- 地球温暖化をひっくりかえす解決策 100 の紹介

ランキング			
順位	解決策	分野	実現性の高いスコア CO2削減 (GT)
1	冷蔵	農林	89.74
2	電力削減 (富士)	エネルギー	84.6
3	飲料水の削減	食	78.53
4	植物性食品を中心とした食生活	食	66.11
5	節電	エネルギー	61.23
6	文具の削減	文具と文房具	59.9
7	節水	水と水道	55.6
8	ソーラーパネル	エネルギー	36.9
9	シルクバスター (節電)	食	31.19
10	富士ソーラー	エネルギー	24.6
11	環境共生事業	食	23.35
12	節電	エネルギー	22.61
13	節水	水と水道	21.57
14	植物性の飲料水	食	20.19
15	節電	エネルギー	18.96



2021年10月
EA推進会議資料

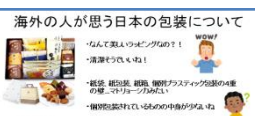
脱炭素について

2021/10/21

Ver1.0

2022年2月18日(金) 13:00~14:05 13名

- ・11 期半年間の集計結果について
- ・緊急時対応手順 (溶剤・油 漏洩対応) について
- ・日本の過剰包装



緊急時対応 (溶剤・油 漏洩対応) 手順

周囲の人に事故の発生を伝える人を集め、溶剤を回収する

① 有線連絡が困難な河川に到達している場合、場合により、又は連絡が困難な河川に到達している場合、緊急時対応手順に従って対応する

② 溶剤、油は溶剤を河川に投入し、下流側に設置した、ウエス、砂、吸収マットで対応する

使用したウエス、砂、吸収マットは袋に入れ、名前を書き、廃棄

有線連絡が困難な河川に到達している場合、緊急時対応手順に従って対応する

緊急時対応手順に従って対応する



- ・勉強会【環境ボランティアについて】

工事部 橘湾事業所 長尾

身近なところで、参加できるボランティアは、?

「EARTH SHIP PARTNER ANAN」



- (1) 市及び市と連携する移住支援団体等が主催する海浜・河川の清掃・美化活動
- (2) プラスチックごみ等の削減及び、ごみの海洋流出や不法投棄の防止に向けた啓発・実践活動
- (3) 環境に配慮した製品、商品、サービスの開発、販売

行政と民間が協力し、地域経済の発展と自然環境の保全を両立し、更に持続可能な社会を構築する取り組みを進めてまいります！

行政と民間が協力し、地域経済の発展と自然環境の保全を両立し、更に持続可能な社会を構築する取り組みを進めてまいります！

2021年5月24日（火）13:00～14:30 11名

- ・EMS記録9ヶ月分（8月～4月）実績について
- ・環境法令（プラスチック資源循環促進法）
- ・環境問題を楽しもう



・勉強会【紙のリサイクルについて】

工事部 島

目を背けていい事ではありませんが、とっつきにくかったり、成果が見えづらく、やる気がいまいち湧かないなんてことはありませんか？

それは楽しめていないからかもしれません。難しく捉えているからかもしれません。

自分の好きなことを少しアレンジして環境問題に取り組んでみませんか？



8. 11期環境経営目標と実績まとめ、11期の評価と12期の取組

環境経営実績【全社】11期2021年8月～2022年7月

項 目		11期 目標	11期 実績	達成率 (%)	評価	
		2021.8～2022.7				
CO ₂ 排出量		kg-CO ₂	158,088	168,422	94	○
電力使用量		k W h	205,188	230,409	89	△
燃料類		ℓ	20,041	24,831	81	△
廃棄物	一般廃棄物	kg	5,491	4,812	114	○
	産業廃棄物	kg	21,714	20,444	106	○
水使用量		m ³	534	587	91	○
化学物質使用量		ℓ	901	503	179	○
グリーン購入推進		品	100%	100%	100	○
環境に配慮した製品、サービスの提供及び施工		件	214	249	116	○
事務所周辺の清掃活動		回	12	9	75	△
経営戦略		回	12	12	100	○

＜評価基準＞ ○：90～100%、△：70～89%、×：70%未満

環境経営実績【建設工事】11期2021年8月～2022年7月

項 目		11期目標	11期実績	達成率 (%)	評価
		2021.8～2022.7			
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	14,070	26,482	53	×
燃料類	ℓ	5,492	10,306	53	×
産 業 廃棄物	k g	598.8	428	140	○
化学物質 使用量	ℓ	70	4.8	1458	○

※ 建設工事の電気・水道等とは他企業と共用で把握できない為、廃棄物・燃料・化学物質を管理する。

＜評価基準＞ ○：90～100%、△：70～89%、×：70%未満

※建設工事の電気・水道等とは他企業と共用で把握できないため、廃棄物・燃料・化学物質を管理する。

11 期の評価【全社 建設工事】

電力の削減 目標値 205,188kwhのところ 12%オーバーの 230,412kwhでした。9月には本社事務所で休日の土日のエアコンがつきっぱなしがありました。これは改善でエアコンの自動オフ機能を設定する事が出来ました。2022年7月には才見工場のコンプレッサーが熱で調子が悪くなり、加工場の冷気を、コンプレッサーがある部屋にいくように扉を開放していた為、電気使用量が多くなりました。目標は達成できませんでしたが、節電に関する改善提案を1人1件提出してもらい、節電に取り組みました。	
燃料の削減 目標 20,041L に対し、使用量が 24,831L となり、24%のオーバーでした。今期は全社で 24%もオーバーしてしまったのですがそのうち工事課では目標値の 87%超えをしていました。工事件数も多かったのですが、現場の遠さも響いてきたようです。	
一般廃棄物の削減 一般廃棄物排出量は、目標値が 5,491kg に対し、4,812kg になりました。目標達成です！今年の特徴としては小松島出張所から鉄の排出が多くありました。個人単位での排出抑制も定着し、日頃の巡視では、廃棄物の分別は ほぼ安定して出来ているように感じています。精密機械を製作する上で、部品の入荷時にほこりなど混入してはならないので梱包材や段ボールが多くなりますが、汚れていないものは再利用してゴミの削減に繋げています。	
産業廃棄物の削減 産業廃棄物排出量は、目標値が 21,714kg に対し、20,444kg になりました。年目標はクリア出来ました。今年は小松島出張所の整頓があり、有価物が多く出されたので、例年より排出量は多くなっています。PCを廃棄する際はセキュリティ担当者にも相談しながらリサイクルにまわせる物はまわして削減に努めました。	 8m³の産廃BOX 処理費用 ¥140,800(税込) アルミ、SUS、鉄、電線は 分別してドラム缶へ
水使用量の削減 上中工場で水漏れがありました。老朽化しているので、見回りが必要です。水使用量については会議でも何度も話題に取り上げ、話し合いをした結果、個々に使用量を意識して、節水に取り組みに繋がったと思います。	
化学物質使用量の削減 今期の年間化学物質使用量は 503L で目標達成できました。どの部署も SDS の保管が出来ており、リスクアセスメントも実施出来ています。在庫管理も工夫出来ていました。	
グリーン購入の推進 購入時はグリーンマーク商品を意識している事は内部監査でも確認出来ています。最近は購入する前にまず廃棄しやすい物を購入したり、考えてから購入する人が増えてきているようです。機械部品や材料については客先指定の物が多く選択できない事も多いようです。	
環境配慮製品の開発・販売促進 今後の企業活動は環境への影響を視野に入れて進めていかないと生き残れない状況になっています。SDGs を形だけにせず、出来るところから取り組んでいきます。環境事業部では従来の「ファインバブル発生装置」に加え、ガラス面に塗布する事で真夏の工場の暑さを軽減する「遮熱塗料」の販売も開始しました。エアコン等電力使用量の削減を目的としています。	
経営戦略 有給取得率 40%を満たしていない方への取得促進、職長教育の追教育の実施、防災備蓄品の公開、エアコンの切り忘れ防止対策として切タイマー設定、安否確認の訓練と防災掲示板の運用開始、通勤マップへの自然災害の危険個所の記入開始、富岡東部防災公園の紹介動画の作成、残業時間の各部の平均や時間外労働の多い部や人に通知、人事評価についての話し合い、中間層への管理者の役割の教育など、今期も様々な取り組みを行いました。今後はゼロカーボンにも取り組みます。	

12 期の取組【全社 建設工事】

<u>電力の削減</u> ・ デマンド削減の取り組みを引き続き行う ・ 夏季の軽装、冬季の重ね着等の工夫を行う ・ カーボンニュートラルへの取り組み ・ 新型コロナ感染防止対策と環境負荷削減の模索（アイデアの募集など）	<u>水使用量の削減</u> ・ 適正な利用、節水に努める ・ 蛇口の閉め忘れ防止の徹底 ・ 適切な手洗い ・ 環境にやさしい洗剤の選定 ・ 設備の管理、見直し
<u>燃料の削減</u> ・ 仕事内容を考え最適な車種の選択 ・ 急発進、急加速の抑制 ・ 不必要な荷物は積まない ・ エコドライブの継続的な情報提供	<u>化学物質使用量の削減</u> ・ 在庫管理の確認を徹底する ・ 新規購入時の SDS 確認 ・ リスクアセスメントを実行する ・ 緊急時漏洩訓練の実施 ・ 最終処分の確認
<u>一般廃棄物の削減</u> ・ ダンボールの廃棄ルール of 徹底 ・ 会社全体での 3R の実行 ・ ペーパーレス化	<u>グリーン購入の推進</u> ・ グリーン対象商品購入数集計 ・ グリーン対象商品の周知 ・ 部署単位での商品の検討
<u>産業廃棄物の削減</u> ・ 会社全体での 3R の実行 ・ 無駄な資材、機材を購入しない ・ 整理して廃棄する	<u>環境配慮製品の開発・販売促進</u> ・ 環境に配慮した提案、設計、施工を行う ・ 環境に関する教育、周知を行う ・ 環境に関するアイデアの探求

9. 環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	法規の基準・規制値	規制の適用・該当施設	遵守
浄化槽法	・ 浄化槽設置の届出 ・ 法定検査、点検、清掃結果の届出	浄化槽	○
騒音規制法	・ 特定施設の届出 ・ 地域住民の苦情への対応	圧縮機（県条例 3.75kw 以上） 【徳島県生活環境保全条例】	○
振動規制法	・ 特定施設の届出 ・ 地域住民の苦情への対応	圧縮機（県条例 3.75kw 以上） 【徳島県生活環境保全条例】	○
廃棄物処理法	・ 産業廃棄物の委託契約の締結 ・ マニフェストの適正管理 ・ 廃棄物置き場の保管基準遵守	・ 一般廃棄物 ・ 産業廃棄物	○
化学物質排出把握管理促進法	・ 化学物質の適正な管理	シンナー、塗料類	○
フロン排出抑制法	・ フロン類の適切な処理	エアコン	○
労働安全衛生法	・ 特定化学物質、有機溶剤等を使用する際の作業環境改善	特定化学物質・有機溶剤	○
特定化学物質障害予防規則	・ 特定化学物質を使用する際の作業環境改善	特定化学物質（使用実績無し）	○
有機溶剤中毒予防規則	・ 有機溶剤を使用する際の作業環境改善	有機溶剤	○
電波法	・ 特定施設の届出 ・ 地域住民の苦情への対応	超音波洗浄機（型式指定）	○
家電リサイクル法	・ 指定家電の回収処理	テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機	○
小型家電リサイクル法	・ 指定小型家電の回収処理	電話機、デジカメ、PC等	○
自動車リサイクル法	・ 自動車の回収処理	自動車	○
消防法	・ 指定数量以上の危険物の保管	軽油等	○
高圧ガス保安法	・ 高圧ガス置場における保管	酸素、CO ₂ 、LPG、アセチレン	○
省エネ法	・ 原油換算し、使用原油量の把握 ・ 原油 1500kL 使用すると特定事業者になり届出が必要	・ 電気・灯油・燃料 ・ 特定事業者に該当しない	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	・ 温室効果ガスの排出量の把握 ・ 温室効果ガス排出の抑制 ・ 特定事業者は、地球温暖化の防止に関する計画書を作成し、知事に提出	・ CO ₂ 排出量 ・ 計画書等は該当しない	○
阿南市環境基本条例	事業者の責務・・・自然環境との調和に配慮しその責任と負担に於いて必要な措置を講じる		○

環境法規制等の逸脱はなく、関係当局より違反等の指摘、並びに訴訟等はありません。

また、関連当局よりの違反等の指摘は過去 3 年間ありません。

10. 代表者による全体評価と見直し

今、「環境」と言うと、温暖化、豪雨災害、感染症、戦争等 が思い浮かび、決して明るいイメージが湧いてこないのが実状です。最近は1年を通して、事故に合った狸や野鳥を見る事が多く、人間が環境に与える影響の大きさを日々痛感しています。 当社では、環境への取組として設立以来毎月の会社周辺ごみ拾いを実施していますが、近年は「伊島ささゆりボランティア活動」や SUP を通じての「淡島海岸清掃」、市の進める「ESPA」への参加等、地域のボランティア活動にも自主的に参加してくれる社員も増えてきており、個々の環境への意識が高まっていると感じています。引き続き、行政や近隣の方と連携・協力しながら取り組んでいきたいと考えています。

11 期の目標達成度については、電気使用量、燃料量が目標を上回る数値となってしまいました。電気使用については、一人一件を目標に「改善・提案」を提出してもらい、皆で検討し取り組みました。目標値に対して7~9割 達成出来てはいるものの、新型コロナ感染症予防対応や、猛暑によるエアコン使用量の増加が影響していると思われます。一方、前期目標未達であった水使用量は、その原因について EA21 推進会議をはじめ内部監査や各部門会議等で何度も話し合いをし、検討し、全員で取り組んだ結果、削減する事が出来ました。皆で取り組む事の大切さ、その「力」の強さを実感しています。又、今期より「未来会議」と称した若手 11 名によるプロジェクトチームを立ち上げ、会社と個人が成長する為の研修と話し合いを毎月行っています。SDGs 社会的責任を果たせるよう、未来へ繋がる活動を行っていききたいと考えています。

2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、『カーボンニュートラル』、『脱炭素社会の実現に向けて』について、当社としては、本社屋上に設置した太陽光発電パネルの活用他、社外にも太陽光発電設備を設置して、社内の中で循環させるカーボンオフセットの取り組みを行っています。12 期は「太陽光発電設備を投資無しで行う」PPA(Power Purchase Agreement)を進めていきたいと考えています。加えて、関連会社では、窓ガラスへ塗布する事で工場へ入る直射日光を遮断し、エアコンの効率を良くし、環境負荷を抑える「遮熱ミックス塗装」を展開しています。身近な会社の取組としては植樹などを通じて、『カーボンニュートラル』に対して積極的に活動を行っていききたいと考えています。

当社の事業活動を通じて、地域の方々が安心して生活できる持続可能な社会の実現を目指して、これからも活動していききたいと思えます。

【見直し項目】

- ・ 環 境 経 営 方 針 : 無
- ・ 環境経営目標及び環境経営計画 : 有
- ・ 実 施 体 制 : 無



株式会社岡部機械工業

代表取締役 星場 俊之